

中郷に、来なね〜!

中郷に、来てね〜!

〜木更津中郷簡易郵便局(千葉県)〜

今回は、高齢者および障がい者のための福祉施設を運営する「かずさ萬燈会」が法人受託している、木更津中郷簡易郵便局に伺いました!



【左から】事務取扱者 石井和美さん、事務取扱者 森みや子さん、局長 高橋 ゆかりさん、藤尾 保さま(お客さま)、かずさ萬燈会 理事長 渡邊元貴さま

—法人受託をされている簡易郵便局だそうですね。

局長:約10年前から、局舎に隣接する社会福祉法人「かずさ萬燈会」が法人受託をして運営しています。ここは、かつての上総中郷郵便局が閉局となり、なんとかこの地区に郵便局を残したいとの地域の皆さまの思いから、1998年に開局した簡易郵便局です。私自身は、それまで出版社や着付け師など畑違いの仕事をしていましたし、事務取扱者の皆さんも未経験者で不安もありましたが、まわりの方々の支えのおかげでこれまで無事続けることができ、本当に感謝しています。

—施設の皆さまとは、どういった交流がありますか?

局長:施設のご利用者は、郵便局をお財布代わりに利用されている方も多く、通帳に使い道をメモして、ご家族への支出の説明に使われているようです。また毎週火曜日には、障がい者福祉施設の方が、施設で焼いたパンを



「かずさ萬燈会」の施設



木更津中郷簡易郵便局の外観

局舎前で販売しており、郵便局をご利用いただくお客さまにも大好評です。

—お客さまは、どのような方が多いですか?

局長:郵便局の周辺には畑や田んぼが多く、お客さまも、施設のご利用者や職員を除くと、農家の方がほとんどです。この界限では徒歩圏内でお越しいただける唯一の金融機関ということもあり、皆さまに重宝いただいています。

このあたりも高齢化が進み、独居老人の方が増えてきており、「久しぶりにお話がしたくて」と言って郵便局に来てくださる方も多くいらっしゃいます。また、壁に多数ある絵画や書も、待ち合いスペースの椅子にある座布団も、局舎前の植え込みのお花も、すべてお客さまが持ってきてくださったものです。そういった一つひとつのご厚意から、地域の皆さまに支えられていることを痛感しますね。



お客さまからいただいた座布団や作品



—最後に一言、お願いします。

局長:毎日お客さまの笑顔を見られることが、この仕事をしていることの、何よりの楽しみです。これからも、地域密着の簡易郵便局らしく細やかな気配りを心がけ、お客さまから大事にいただけるように、頑張っていきたいです。

中郷は こんなところ!



中郷は房総半島の西部にあり、木更津市の中でも、東京ドイツ村などの観光地の多い袖ヶ浦市との境目に近い所です。中郷は、幸水や豊水などの梨や味来というトウモロコシが有名で、旬の時期になると、それらを求めて遠方から車で来る人もいます。



トウモロコシ

お客さまの声



藤尾 保さま

4年前に定年退職してから、地域社会福祉協議会や民生委員会の仕事をしているので、定期的にはがきの購入などで郵便局を利用しています。実家で農業をしており、離れて暮らす妹や娘にも、木更津中郷簡易郵便局から野菜やお米を送っています。郵便局の皆さんも慣れていて、いつもすぐに用件を理解して準備してくれるので、とても助かっています。

長い付き合いになりますので、これからもよろしく願っています!

郵政

2015/05

Vol. 784

